

号外



ためしよみ・購読のお申し込みは

0120-461051

ネットでも
ニュース

北陸中日
中日スポーツ

検索

大の里横綱确实

夏場所V 6場所制で最速



琴桜(左)に寄り切りで勝ち、2場所連続4度目の優勝を決めた大の里。23日、東京・両国国技館で(武藤健一撮影)

大相撲夏場所13日目は23日、

東京・両国国技館で行われ、大

関大の里(24)＝本名中村泰輝、

石川県津幡町出身、二所ノ関部

屋Ⅱが大関琴桜に勝ち、13連勝

で、2日を残し2場所連続4度

目の優勝を決めた。県出身では

七尾市の輪島以来とな

る横綱昇進が确实とな

った。初土俵から所要

13場所の横綱昇進

で、年6場所制とな

った1958年以降

で最速となる。

【初土俵から横綱昇進の
所要場所と年齢】

大の里	*	13場所	24歳
輪島	*	21場所	25歳
朝青龍		25場所	22歳
曙		30場所	23歳
白鵬		38場所	22歳

(年6場所制となった1958年以降、
*は幕下付け出し)

【2000年以降の新横綱】

しこ名	出身地	場所
朝青龍	モンゴル	2003年春
白鵬	モンゴル	07年名古屋
日馬富士	モンゴル	12年九州
鶴竜	モンゴル	14年夏
稀勢の里	茨城県	17年春
照ノ富士	モンゴル	21年秋
豊昇龍	モンゴル	25年春
大の里	石川県	25年名古屋

エリートじゃなく 雑草

ピンチの時こそ 猛稽古

大の里は、どんな幼少期を過ごしたのか。父・中村知幸さん(49)は幼児期について「ミルクをたくさん飲み、ご飯も食べ、よく眠る子でした。それでぐんぐん背が伸びた」と振り返る。知幸さんがドライブで連れ出すと、車の中でもよく寝てい

たという。

小学1年で相撲を始めた大の里は、4年生までは大会で好成績を収めていた。5年生になると負けが増えたが、知幸さんは追い詰めずそばで見守った。「挫折してしまうのかなとも思

ったが、嫌にならずに続けてくれ」とと振り返る。6年生の春から新潟県での合同稽古に、誘いを受けて参加するように。糸魚川市立能生中学校への進学は自分の意思で決めた。息子の決断を尊重した知幸さんは「石川から出て、力を付け、勝てなかった子を破りたい

父・中村知幸さん

思いがあったんじゃないかな」と思いをはせる。「スピード出世」「エリート」とよく言われるが、自宅を離れて進んだ能生中、新潟・海洋高校時代の猛稽古で鍛え上げられた「雑草」と知幸さんは話す。「彼はピンチの時に頑張ってきた」と目を細め、「本当に親孝行ですよ。誰が育ててきたのか」と、ほほ笑みながら誇らしげに語った。

大の里の歩み

角界入り前

2000年	6月	石川県津幡町で誕生。
	7日	体重4036㌔
07年	3月	津幡町住吉保育園(当時)卒園
	4月	津幡町立津幡小学校入学、ほどなく津幡町少年相撲教室で相撲を始める
	秋	金沢市であった大会の小学1・2年生の部個人で初の優勝。「4年生くらいまで北信越ではほとんど負けなかった」と父・知幸さん
13年	4月	津幡町を離れ、新潟県糸魚川市立能生中学校に進学。
16年	1月	少年相撲大会「第6回白鵬杯」の中学個人で優勝
	4月	新潟県立海洋高校進学
	8月	全国高校総体個人で準優勝
19年	4月	日本体育大進学
	10月	国民体育大会成年個人で優勝
	11月	全国学生選手権で優勝。「学生横綱」の座をつかむ
21年	12月	全日本選手権で優勝。「アマチュア横綱」に輝く
22年	7月	国際総合大会「ワールドゲームズ」無差別級で優勝
	12月	全日本選手権で2連覇。2年連続の「アマチュア横綱」に
23年	3月	二所ノ関部屋入門決定。日体大を卒業



(上から) 6歳の大の里と父の中村知幸さん、妹の葵さん



2007年4月、津幡町立津幡小に入学



2012/08/14

写真はいずれも父の知幸さん提供

伝説の力士像と



新潟県立海洋高相撲部の仲間と。前列左から2人目が大の里



生後3カ月、綱と化粧まわし姿で記念撮影



小学生の頃、カラオケボックスで歌う



2013/04/08

2013年4月、新潟県糸魚川市立能生中へ入学



日体大時代、教育実習に臨む。保健体育の教員免許を持っている

大の里の全場所戦績

丸数字は回数

2023年

夏場所

幕下10枚目格付け出し 6勝1敗

2年連続アマチュア横綱の鳴り物入りで初土俵を踏むもデビュー戦は黒星。「甘かった」。その後は修正し6連勝。「あの負けがあったから今の大の里がある、と思えるくらい強い人間になりたい」

名古屋場所

東幕下3 4勝3敗

最後の1番で勝ち越し。十両昇進をつかむ。「ご飯も食べられず誰の声も耳に入らない状態だった」と緊張を語る。昇進会見で「金沢駅にある等身大パネルに早く並びたいと思って生活していた」

秋場所

東十両14 12勝3敗

初日から9連勝。1場所15日制では新十両としての最長タイ記録。場所後、故郷の津幡町役場で「ワクワクして充実した15日間。最初は楽しくいけたが、後半は疲れが出た。反省点は見えてきた」

九州場所

東十両5 12勝3敗

初の優勝決定戦。優勝はならなかったが翌月の番付発表で、初土俵から昭和以降3位に並ぶ所要4場所で新入幕。「一日でも早く番付を上げたいという目標で入った。十両を駆け上がったよかった」

2024年

初場所

西前頭15 11勝4敗

能登半島地震発生後最初の場所。新入幕ながら横綱戦も組まれる活躍で初の敢闘賞。「石川に良い報告ができた」。場所後の2月に遠藤、輝らと石川県内瀬町の避難所を訪れ、激励。祖父とも再会。

春場所

西前頭5 11勝4敗

敢闘賞② 技能賞①
髪形は依然さんぽ。千秋楽まで優勝争いしたが、学生時代から何度も対戦してきた尊富士に110年ぶりとなる新入幕優勝をさらわれた。「さんぽら優勝したかった。したかったなあ」

夏場所

西小結 12勝3敗 優勝①

殊勲賞① 技能賞②
初のまげ姿。20歳未満の幕下以下力士との飲酒が場所前に発覚したが、土俵に集中して初の幕内優勝。初土俵から所要7場所の賜杯は、前の場所の尊富士を上回り最速。「優勝する姿を石川県の方に見せられて本当にうれしい。デビュー1年後の優勝は想像していなかった」

名古屋場所

西関脇 9勝6敗

殊勲賞②
場所前の7月には故郷の津幡町で優勝祝賀パレード。意欲を高めて臨むも初日から連敗。関取昇進後初の1けた白星に終わる。「勝ち越しも怪しいかなと思っていた。悪いものが全部出た」

秋場所

西関脇 13勝2敗 優勝②

敢闘賞③ 技能賞③
左おっつけを新たな武器に2度目優勝と大関昇進をつかむ。「名古屋の悔しさを反省し、生かした」。優勝を決めた日に能登豪雨が発生。「少しでも明るい話題をと思ってやった」。初土俵から所要9場所の大関昇進は昭和以降で最速。「唯一無二の力士を目指す」と口上。

九州場所

西大関 9勝6敗

新大関。大銀杏(おおいちよう)が結えない異例のちゃんば姿。前半までに2敗し優勝争いには絡めず。この1年を振り返り、「新入幕から始まり、大関に上るとは考えてもいなかった」

2025年

初場所

西大関 10勝5敗

場所前に初の大銀杏姿に。土俵は前半で3敗し、優勝争いには絡めず。「序盤は土俵がむちゃくちゃだった」。場所後に「序盤の入りをしっかりやっておけば変わったかなと後悔もある」と話す。

春場所

東大関 12勝3敗 優勝③

本割で勝ったことがなかった高安との決定戦を制し、大関として初優勝。「2月にしっかり稽古して成果が出たと思う。横綱は簡単にになれるものではない。自分のやるべきことをしっかりやりたい」

被災地照らす里ごころ



2023年4月、しこ名が「大の里」に決まる＝新潟県糸魚川市の海洋高で

デビュー



2023年夏場所、幕下付け出しでデビュー。一番相撲は石崎に敗れた＝両国国技館で

十両昇進



2023年7月、同部屋の高橋(現日熊)とともに新十両昇進が決まる＝愛知県安城市で



避難生活送る祖父と

新入幕



2024年初場所、同じ石川県出身の遠藤(右)と初対戦で勝利＝両国国技館で



大器早成

さらに
その先へ

2024年4月、新三役に昇進し、初めてのまげ姿で抱負を語る

大の里のプロフィール



本名	中村泰輝
出身地	石川県津幡町
身長	192cm
体重	191kg
得意技	突き、押し、右四つ、寄り
趣味	散歩
好きな食べ物	魚、スイーツ
好きなアーティスト	湘南乃風
小さい頃	津幡町少年相撲教室で小学1年から相撲を始める。元々は野球に憧れていた
家族	学園ドラマ『スクール☆ウォーズ』をビデオでよく見ていた 父 知幸さん 母 朋子さん 妹 葵さん

初優勝



2024年夏場所千秋楽、阿炎(左)に勝ち初優勝を決める＝両国国技館で



2024年7月、古里で開催された初優勝の祝賀パレード＝石川県津幡町で



2度目V

2024年秋場所2度目の優勝、祝勝会でお祝いのタイを掲げる。前列左は父の知幸さん、大の里の右後ろは母の朋子さんと妹の葵さん＝茨城県つくば市で



3度目V

2025年春場所の優勝決定戦で、高安を下して3度目の優勝を決める＝エディオンアリーナ大阪で



初日

○ 寄り切り 若元春戦



2日目

○ はたき込み 高安戦

3日目

○ 送り出し 阿炎戦



4日目

○ 押し出し 王鵬戦



5日目

○ 寄り切り 玉鷲戦



6日目

○ 押し出し 豪ノ山戦



7日目

○ はたき込み 尊富士戦



8日目

○ 押し出し 平戸海戦



9日目

○ 送り出し 宇良戦



10日目

○ 押し倒し 一山本戦



12日目

○ はたき込み 伯桧鵬戦

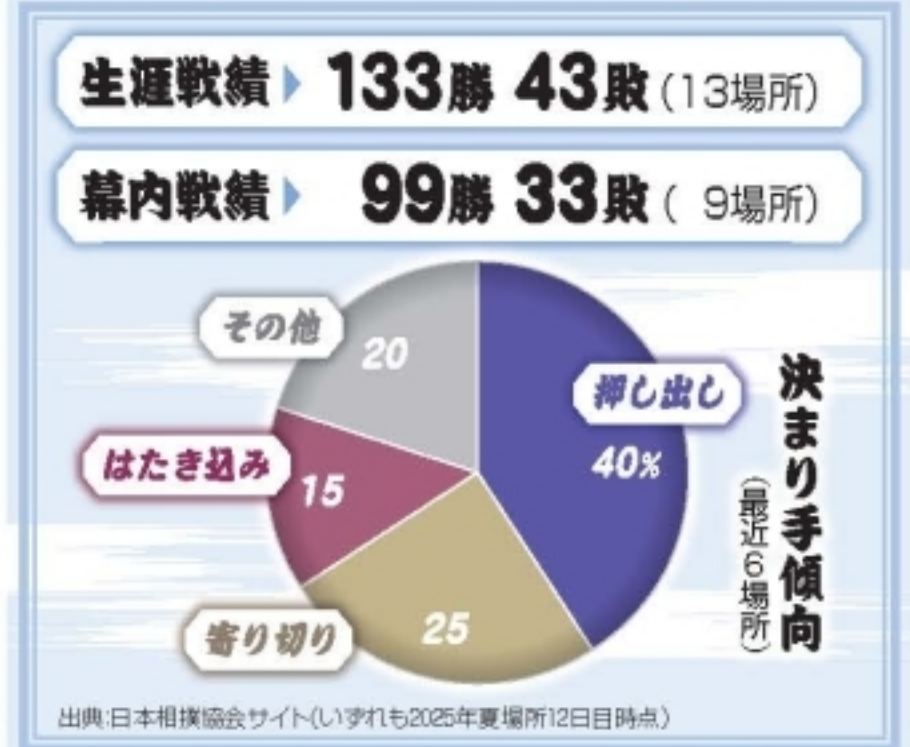


11日目

○ 寄り倒し 若隆景戦

一段一段 一番一番

夏場所の軌跡



師匠の土俵入りは雲竜型



横綱が場所中に毎日披露する土俵入りには「攻め」を表す不知火型と、「攻めと守り」を表す雲竜型がある。大の里の師匠の「所ノ関親方(元横綱稀勢の里)」写真Ⅱは雲竜型だった。現役の豊昇龍も雲竜型。過去の横綱では、千代の富士らが雲竜型。白鵬らが不知火型。